

# 令和4年度事業報告書

〔 令和4年4月1日から  
令和5年3月31日まで 〕

## I 事業の実施状況

令和4年度は、低金利状況が続く中で、金融市場の動向を見極めつつ、基本財産の効率的な運用を図り収入の確保に取り組むとともに、引き続き管理費等の経費節減に努め、令和2年2月に策定した第2次中期経営計画(令和2年度～令和6年度)に基づき実施事業のPDCAを行った他、事業調査委員会においてこれまでの中間点検と計画後期に向けた協議を行い、第2次中期経営計画の改訂を行った。一方、事業運営については、事業の見直しに関する答申に基づき、社会経済情勢の変化に対応した事業展開を基本的な視点とし、財政的に限られた協会の運用資源を効果的に活用することを踏まえ、当協会の目的である地域における文化の高揚及び地域の振興を図るための諸事業を実施した。

### 1. 市町村等振興助成事業

#### ・地域振興事業

地域の特性を生かした個性豊かな地域づくりを推進するため、市町村等が行う事業を対象に助成を行うものである。(原則として国及び県の補助対象となるものを除く。)

令和4年度は、40市町村及び4広域市町村圏事務組合へ78件、7,114万1,639円の助成を行った。なお、事業項目別の件数、市町村実施数、広域圏実施数、助成額は次のとおりである。

事業項目	助成件数	助成先	金額(円)	備考
ア) 地域活性化推進事業	12	8市町村 3広域圏	11,787,840 4,270,000	市民大学事業、イベント事業等
イ) 地域産業振興事業	7	7市町村	9,050,000	産業まつり、プロモーション事業等
ウ) 地域環境保全推進事業	4	4市町村	4,940,000	環境調査事業等
エ) 地域文化振興事業	15	13市町村 1広域圏	12,397,012 1,500,000	ミュージックフェスタ開催事業等
オ) 地域国際交流推進事業	4	4市町村	3,536,420	海外短期留学派遣事業等
カ) 地域情報化推進事業	1	1市町村	1,320,000	道路台帳図電子化事業等
地域学力向上支援事業	35	35市町村	22,340,367	地域学力向上支援事業等
合計	78	40市町村及び 4広域圏	71,141,639	

## 2. 地域活性化助成事業

県内の地域づくり団体等が、地域の振興及び活性化を目的として、地域づくりの担い手となる人材育成及び地域づくりに関する情報の共有等を図るために実施するワークショップ、フォーラム、セミナー等の交流事業の企画に対し所定の審査を経て選定された事業に助成する事業である。

令和4年度は、地域づくり団体等が行う第1部の23事業に対し489万8,000円の助成を行い、県又は市町村が行う地域の活性化に資する事業を支援する第2部の1事業に対し、90万円の助成を行った。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業を中止した団体が2件あった。

平成29年度から開始した優良事例の表彰について、副賞として表彰した団体の職員を地域づくり団体全国研修交流会に派遣しており、令和4年度は令和元年度表彰1団体と令和3年度表彰1団体、合計2団体の職員を地域づくり団体全国研修交流会長崎大会に派遣した。

また、令和4年度分の表彰として令和3年度の地域活性化助成事業を活用した団体の中から特別賞1団体を決定した。

なお、令和4年度の助成団体及び事業内容は、次のとおりである。

### 【第1部：前期】

No.	団体名	事業名	事業内容
1	琉球弧の無形民俗文化財を考える会	琉球弧の無形民俗文化財の危機を考える連続シンポジウム	存続の危機にさらされている、琉球弧に存在してきた無形民俗文化財の現状を、専門家、研究者の皆さんから報告いただき、今後の保存継承のあり方を、県民の皆さんとともに考えていくための連続シンポジウムを開催した。
2	八重山探検隊	石垣島民話の里めぐり	石垣島に残る民話の里を子どもたちとめぐり、方言で語る民話や民謡に触れる機会をつくり、八重山の文化や歴史に興味、関心を持ってもらった。また、パンフレット作成のためのワークショップを行い、著作権をはじめとする情報管理の知識を身に付けさせた。
3	浅野浦自治会	桜のまち浅野浦宣言と自治会活動	持続可能な自治会活動を目指し「桜のまち浅野浦」宣言を行い、まちづくりの目標とした。基調講演や記念植樹、ロゴ作成を行い、桜を増やすことだけでなく、地域の人々の心の中で「春爛漫と咲き続ける」自治会活動を行うことができた。
4	(公社)青年海外協力協会 沖縄事務所	地域の魅力再発見☆目指せうらおそいマスター	浦添地域の若い世代を主なターゲットに、浦添の歴史・文化に触れながら、平和やSDGsについて楽しく学べる教育コンテンツを地域住民と一緒に作り、実際に体験してもらうことで、地元への誇りを高めると同時に、世代間交流を促すきっかけとなった。
5	あかゆらめ花会	自然環境観察会・地域づくり勉強会	地域の自然環境を観察し、生物の生態などをメモにして、人間生活に役立つ資料として整理した。専門家が現地で行う観察手法や姿勢、資料等の整理方法を学び、観察結果を小冊子にまとめあげ、地域づくりにも役立てることができた。

6	大里グリーンタウン自治会	作品展事業	コロナ禍で全ての行事が中止となり、会員の親睦・交流が閉ざされ、絆が分断されていた。今回の作品展では、ふれあいサロンや、子どもたちの物づくり教室などを盛り込み、会員相互の文化交流の促進と、地域の文化活動の活性を図ることで会員の絆を強めることができた。
7	ユナムダクマ協議会	持続的な与那区伝統行事実施体制強化事業	与那区には、女性だけで歌い踊る伝統行事がある。しかし、過疎化による女性の減少とコロナの影響もあり、行事継続が難しくなっていた。そこで、元京都教育大学の先生を招聘し話を聞く機会を設け、歌の方言歌詞入りDVDを作成し配布することで、伝統行事を持続可能なものにできた。
8	くがにまーる@くめじま	みんな生き生き、笑顔いっぱい 未来につながる地域活性化事業	コロナ禍で孤立する親子の心配があり、大切にしてきた自然や文化についての継承も危機的状況となっていた。そこで、子育て支援に関する4つの分野の活動を実施し、人と人を繋ぎ、学ぶ機会を設け取り組んだ。心豊かに暮らしを楽しむことを目的とし、未来に向けた後継者の育成も行うことができた。
9	新城自治会	心と体の食作り	食育講師を招き、食育に関する講座を開くとともに、学校の長期連休期間に講師と保護者で子どもたちへ食事を提供した。学童待機児童等、地域の子どもの見守り、食への関心を高めていくことができた。
10	波照間★ロボットクラブ	「Let'sプログラミングロボット製作♪」波照間プロジェクトⅡ	ロボット製作の機材を購入し、専門知識のある講師を招聘することでワークショップ等の体験活動を行った。今年度はロボットコンテスト全国大会出場を目指し、将来の波照間島を牽引する人材の育成を行うとともに、持続可能な活動ができた。
11	ベスマケーしゃはんプロジェクト	ベスマ ケーしゃはん スタディーズ ～未来につなげよう！私たちの海と島～	環境保全団体やSDGsゲームファシリテーターを招いて、講和やゲーム体験会を企画運営した。イベントを通して、海洋ゴミ回収の際に感じた諸問題についての解決策を楽しみながら見出すことができた。また、今後の人材育成やさらなる活動へと発展させることもできた。

## 【第1部：後期】

No.	団体名	事業名	事業内容
1	子どもの権利条約フォーラム in 那覇／沖縄実行委員会	子どもの権利条約フォーラム in 那覇／沖縄	本事業は、毎年全国各地で開催されている「子どもの権利条約フォーラム」の第30回目の大会であり、子どもの権利実現に向け、子どもの権利に関する市民の理解を広げ、一般市民が子どもをめぐる社会課題に気づき、主体的に参画するきっかけづくりができた。
2	特定非営利活動法人あきみよ	沖縄伝統文化・地域資源の保存と活用を図る体験事業	地域の特産品を活用し、沖縄の食・工芸に関する体験型のワークショップを開催することで、沖縄文化の価値を再認識し、誇りや愛着の醸成に繋げることができた。
3	うるま市立南原小学校PTA	勝連城跡へ続くアートロード	勝連城に至る県道16号線沿いの南原小学校の外壁に壁画を描くことで、南風原地区の新しい魅力を創造・発信し、アートを通して地域の魅力を再認識してもらうことができた。

4	「地域に緑と花を」イッペー会	イッペー森まつり&ペタンク競技交流大会	地域の方々が協力して植栽したイッペーの森を会場として、イッペー森まつりとペタンク競技交流大会を開催。事業を通して、地域で作り上げたイッペーの森を広く周知する機会となり、地域住民の交流の場を作ることができた。
5	赤道区自治会	フラワーガーデン・フラワーフェスティバル事業	公民館に隣接する遊休地を活用して、地域住民で協力してフラワーガーデンを整備。整備後に、フラワーフェスティバルを開催し、フラワーガーデンを地域の癒しの場にするのと同時に、地域での世代間交流の促進に繋げることができた。
6	安慶名グスク祭り実行委員会	安慶名グスク祭り	琉球史において重要な役割を果たし、地域の校歌に歌われるなど、古くから親しまれたグスクである安慶名グスク城跡を会場として、交流イベントを開催し、伝統文化の継承、青少年健全育成及び世代間コミュニティの活性化に繋げることができた。
7	馬天小学校PTA	第3回津波古こども文学賞	地域の児童・生徒から作文・絵画を募集する「津波古こども文学賞」を実施し、子どもたちの基礎学力の向上を図るとともに、青少年の健全育成に繋げることができた。
8	つはこ花咲かす会	コスモスまつり	津波古ハッピー広場を地域で協力して、コスモス畑に環境整備し、コスモスまつりを開催した。事業を通して、ハッピー広場が住民の憩える場所となり、地域の連帯感及び地域愛の醸成に繋げることができた。
9	一般社団法人北谷町観光協会	情報発信力向上SNS活用講座	本協会の会員及び地域の方々を対象として、情報発信力の向上を目的として、SNS活用講座を開催。事業を通して、地域の情報を多くの方々が発信することで、誘客の向上に繋げ、地域経済の活性化に貢献できた。
10	Cha-Ashibi	海について学び、環境保全や地域活動を通して、人と繋がり活性化を目指す事業	子ども達や若い世代を対象に、ビーチクリーンやワークアウトなどのイベントを開催。事業を通して、環境保全意識の醸成や地域を超えた交流の促進に繋げることができた。
11	八重瀬町長毛自治会	地域に根ざす子ども育成プロジェクト(グローバルな情操豊かな人材作り)	公民館を拠点とした世代間交流や子どもたちの人材育成を目的に、毎週土日にヨガや音楽、英会話などのワークショップを開催。事業を通して、子ども達の可能性を広げることができた。
12	新城子ども会育成会	心と体の食育	食育講師を招き、子育て世代や高齢者世代を対象に食育に関する講座を開催。事業を通して、食への関心を高めるとともに、世代間交流を生むことができた。

## 【第2部】

No.	団体名	事業名	事業内容
1	中城村	子ども達による創作組踊「糸蒲の縁」上演事業	創作組踊「糸蒲の縁」は、新興住宅地として発展する中城村南上原地区において、新旧住民の多世代交流を図り、地域活性化を目的として、平成24年に南上原自治会により上演されている。南上原組踊保存会は、この貴重な組踊を保存継承していく目的で結成され、平成27年からは子どもの部を開設し、子ども達による組踊を毎年上演している。本事業で、小・中学生からなる新キャストによる創作組踊「糸蒲の縁」の上演をとおり、伝統芸能である組踊を継承し、青少年健全育成及び地域活性化に繋げることができた。

### 3. コミュニティ活動促進事業

地域住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛上げることを目指すため、市町村又は市町村が認めるコミュニティ組織が、コミュニティ活動に直接必要な備品の購入に対し助成する事業である。

令和4年度は、2団体(宜野座村宜野座区、渡名喜村)に81万5,000円の助成を行った。

### 4. 地域振興研究助成事業

県内の研究機関等が行う、沖縄の地域振興及び文化の高揚に寄与することを目的とする政策提案型の研究に対し助成する事業である。

令和4年度は、市町村へのアンケートを踏まえて協会が設定した研究テーマに沿った内容の研究を公募し、採択した『沖縄県における学童期の子どもの居場所に関する調査研究(キリスト教学院大学)』、『ドローンを活用したプログラミング教育の学習効果研究(沖縄ICTキッズプロジェクト)』、『新しい学びの環境構成ー地域資源を活かしたアートプロジェクトによる教育実践(AIO)』をそれぞれ研究テーマとする3団体へ124万3,036円の助成を行った。

### 5. 地域づくりイノベーションプラットフォーム構築事業

県内の地域づくり団体及びその助成団体等で情報や課題を共有し、各団体間のネットワークの拡充強化を図ることで、地域活性化を推進する事業である。

令和4年度は、県内の助成金情報と地域づくり事例等を紹介するメールマガジンを配信した他、市町村及び助成団体を対象として、地域課題への対応方策等について学ぶ研修会と参加者によるワークショップを実施した。

### 6. 地域人材育成・課題解決支援事業【新規】

琉球大学と令和4年1月14日付けで締結した「包括的連携に関する協定」に基づき、1年目は琉球大学が実施する「初級地域公共政策士」の資格教育プログラムの受講費用を助成し、2年目は地域の課題解決を図る事業の企画立案・遂行に対して伴走支援を含む助成を行うことで、沖縄県における地域づくりをリードする人材の育成を目的とする事業である。

令和4年度は、事業初年度のため、合計5名(自治体職員2名、地域づくり団体構成員3名)へ47万9,391円の受講費用助成を行った。

7. 休眠預金活用事業【新規】(事業名:認知症の方々も安心・安全な外出を担保できるまちづくり)

外部資金活用の一環として、(一財)日本民間公益活動連携機構(略称「JANPIA」)が公募・助成する休眠預金等活用事業へ、(公財)みらいファンド沖縄(幹事団体)とのコンソーシアム協定に基づく構成員として参画し、令和3年度に資金分配団体として採択、令和4年度より実施している事業である。

令和4年度は、コンソーシアムの構成員として、高齢者や認知症の方だけでなく誰もが住みやすい魅力的な地域社会の創出を図る課題解決事業の実行団体となる民間5団体(那覇市、浦添市、南風原町、西原町、北中城村)の伴走支援を行った。

II 理事会・総会等運営状況

1. 理事会

開催年月日	審議事項等
令和4年4月1日(金) (書面決議)	(1) 専務理事(代表理事)選定の件
令和4年6月2日(木) (オンライン会議 システム使用による Web会議)	(業務報告)代表理事の職務執行状況報告 (1) 令和3年度事業報告及び決算承認の件 (2) 理事の選任の件 (3) 令和4年度定時総会開催の件
令和4年6月20日(月) (書面決議)	(1) 会長(代表理事)選定の件 (2) 「協会役員報酬等及び旅費に関する規程」に係る常勤役員 の期末手当の特例措置に関する件について
令和4年11月9日(水)	(1) 第2次中期経営計画の中間見直しに係る諮問について (2) 沖縄県地域振興協会事業調査委員の選任について (3) 協会諸規程の一部改正の件 報告事項 ・資産運用・管理の現況について
令和5年3月8日(水) (書面決議)	(業務報告)代表理事の職務執行状況報告 (1) 令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認 の件 (2) 諸規程の制定及び一部改正の件 (3) 第2次中期経営計画(令和2年度～令和6年度)【改訂版】 (案)の承認の件 (4) 特定費用準備資金保有に係る将来の特定の事業活動の目的 (案)の承認の件 報告事項 ・第2次中期経営計画の中間見直し(計画後期の取り組み)に係 る答申について
令和5年3月24日(金) (書面決議)	(1) 理事の選任の件 (2) 臨時総会の決議の省略についての承認の件

## 2. 総 会

開 催 年 月 日	議 決 ( 承 認 ) 事 項
令和 4 年 6 月 20 日 ( 月 )	(1) 令和 3 年度決算の承認の件 (2) 理事の選任の件 報告事項 ・ 令和 3 年度事業報告の内容報告の件

## 3. 事業調査委員会運営状況

開 催 年 月 日	審 議 事 項
令和 4 年 12 月 1 日 ( 木 )	(1) 実施事業の改廃 (2) 資産管理のあり方検討の方向性
令和 4 年 12 月 27 日 ( 火 )	(1) 第 2 次中期経営計画の点検～運営体制と実施事業の P D C A (2) 答申案について